

姫島村子ども読書活動推進計画



大分県姫島村

はじめに

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

国は、平成13年12月に、子ども読書活動の重要性から「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定しました。この法律に基づき、平成14年8月には、施策の基本的方向と具体的な方策を示した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第1次計画）が閣議決定され、引き続き平成20年3月には、第2次計画が策定されました。

大分県も、こうした国の動向を踏まえ、平成16年2月に「大分県子ども読書活動推進計画」を策定し、その取組の成果と課題を踏まえ、平成21年3月には「第2次大分県子ども読書活動推進計画」を策定しました。

「早い時期に本に慣れ親しむことは、読書の習慣を身に付ける上で極めて重要である。」こと、また「すべての子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるような環境整備を推進していく必要がある。」ことなど、子どもの読書活動を推進するためには、県、市町村、学校、地域、家庭が独自の機能や役割を十分に果たすとともに相互に連携・協力して活動していくことが必要です。

姫島村では、国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」や、国・大分県ではすでに2次にわたって推進計画が策定されていることをうけ、このたび「姫島村子ども読書活動推進計画」を策定しました。

姫島村子ども読書活動推進計画

目次

はじめに

第1章 子ども読書活動推進計画の基本方針・・・・・・・・・・ 1

1. 基本的な考え方

2. 子ども読書活動推進計画の実施期間

第2章 子ども読書活動推進のための具体的方策・・・・・・・・・・ 2

I 家庭・地域における読書活動の推進・・・・・・・・・・ 2

1. ブックスタート事業

2. 子育て支援センターでの取り組み

3. 中央公民館図書室における取り組み

II 学校等における読書活動の推進・・・・・・・・・・ 4

1. 保育所・幼稚園における取り組み

2. 学校における取り組み

III 関係機関との連携・協力・・・・・・・・・・ 6

資料 姫島村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱・・・・・・・・ 7

第1章 子ども読書活動推進計画の基本方針

1. 基本的な考え方

(1) 読書環境の整備と充実

乳幼児期から発達段階に応じた読書に親しむ事ができるよう、子どもに関わる大人は、本を身近に用意して手渡し、読書の楽しさを知るきっかけをつくる必要があります。子どもが読書活動を広げ、体験を深め、積極的に読書に取り組めるよう、読書環境の整備と充実に努めます。

(2) 家庭、地域、保育所、幼稚園、学校の連携による読書機会の提供と読書活動の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭から地域、保育所、幼稚園、学校を通じた村全体の取り組みが必要です。家庭での読書に親しむ機会の充実をはじめ、自主的な読書活動への取り組みが、家庭から地域、保育所、幼稚園、学校へと引き継がれるよう、関係機関・団体の協力による取り組みを推進します。

(3) 情報提供と啓発

子どもの読書意欲を高め、自主的な読書活動への態度や習慣を身につける上で、身近な大人の役割は大変大きいものです。子どもを取り巻く大人が、読書活動推進への理解を深め、気運を高めるために、子どもの読書活動の意義や重要性について啓発を図るよう努めます。

2. 子ども読書活動推進計画の実施期間

姫島村子ども読書活動推進計画は、策定時より概ね5年を目安として実施し、必要に応じて見直しをします。

第2章 子ども読書活動推進のための具体的方策

I 家庭・地域における読書活動の推進

初めて子どもが本に出会い、読書の楽しさや喜びを知る場は家庭です。また、読書習慣を形成する第一歩となるのは、家庭での親子のふれあいや語りかけです。保護者の理解を深め、本の楽しさを知らせる啓発活動として、次のように取り組めます。

1. ブックスタート事業

家庭での読み聞かせを通して、親子の絆を深めることを目的に、生後半年を迎えた子どもへ絵本を贈ります。併せて読み聞かせの実演や、重要性についての説明、「中央公民館図書室の利用案内」の配布を行い、継続的な読書習慣の形成と親子での図書室利用促進を図ります。

2. 子育て支援センターでの取り組み

絵本を通して、共に楽しい時間を積み重ね、親子のふれあいを深められるよう、楽しくゆったりとした時間を過ごせる場所を提供し、次のことを行います。

(1) 読み聞かせや絵本の紹介

親子で絵本の楽しい世界を共感する中で、乳幼児への絵本の選び方、読み方、与え方、絵本の読み聞かせが子どもにとっていかに大切かということをお伝えします。

(2) 保護者に対する啓発活動

支援センター発行のお便りなどで、乳幼児期における絵本の読み聞かせの大切さ、乳幼児期に与えたい絵本の選び方や薦めたい絵本の紹介を行います。

3. 中央公民館図書室における取り組み

親子が気軽に図書室に立ち寄って、読書や図書の活用ができ、満足して利用できる施設となるよう、関係機関との連携により、次のことに取り組みます。

(1) 蔵書の充実と図書貸出の推進

子どもが自主的に読みたい本を選択し、家庭や地域で読書を楽しむことができるよう、蔵書を充実させ、図書の貸し出しを推進していきます。

(2) 読書相談

子ども、保護者、子どもの読書に関わる方からの読書相談に積極的に応じます。

(3) 地域との連携

保育所、幼稚園、学校等への団体貸し出しサービスを行います。

(4) 読書の啓発活動

子どもを対象としたおたのしみ会や、親子のための読み聞かせの会、子ども読書に関わる方のための学習会を実施して、読書活動の啓発に努めます。

(5) 司書の研修

図書室の司書は、蔵書構成などの図書の選書や利用者への提供、読書相談など、読書推進において重要な役割を担っています。児童図書や児童文学に関する広範な知識と、発達段階に応じた図書の知識、また子どもや保護者への読書案内ができる技術の習得が求められています。このため、継続的に司書の専門知識・技術の向上に努めます。

(6) 読み聞かせボランティアへの支援

読み聞かせボランティアのスキル向上を支援し、学習会の開催や支援、情報発信を行います。

II 学校等における読書活動の推進

1. 保育所・幼稚園における取り組み

保育所・幼稚園は、家庭と共に子どもの人格形成の基礎を培う大切な場所です。子どもはさまざまな遊びや本との出会いを通して、豊かな心を育みます。読み聞かせをはじめとした、絵本や物語に触れる機会を積極的につくり、乳幼児期の好奇心や探究心を高め、心を育てる質の良い本に出会う環境づくりのため、次のことに取り組みます。

(1) 読み聞かせの実施

毎日読み聞かせを行い、子どもの読書経験を広げます。

(2) 環境の整備

常設の絵本コーナーの棚を整備し、絵本を充実させ、子どもが日常的に本に親しむ場を提供します。また、良い絵本にふれられるよう発達段階に合ったものを紹介します。

(3) 団体貸し出しサービスを利用した絵本の活用

中央公民館図書室からの団体貸し出しサービスを利用し、数多くの絵本に接する機会を充実させ、絵本に親しみが持てるようにします。

(4) 職員の研修

読み聞かせ等の研修会や講演会に参加し、職員の読書指導力の向上を図ります。

(5) 保護者に対する啓発活動

保護者に家庭での読み聞かせや親子のふれあいの大切さを伝え、子どもとともに絵本やお話に親しむことができるよう、園だよりなどを通して情報を発信します。

2. 学校における取り組み

本の楽しさを知り、日常的な読書習慣を身に付け、さらに、授業や行事などで学校図書館を活用し、自力で課題解決のできる知的好奇心と活力に満ちた子どもたちを育てるために、次のことに取り組みます。

(1) 読書習慣の形成

日常的な読書習慣を身につけられるよう、児童・生徒、教職員と一緒に朝読書に取り組むとともに、読書週間、読書集会などの実施により、児童・生徒の自主的な読書活動を支えます。

(2) 情報活用能力の育成

学校図書館の利用指導を充実させ、司書教諭や司書と連携しながら、調べ学習など図書を活用した授業を行い、読解力・情報活用能力の育成に努めます。

(3) 学校図書館の利用促進

読書活動の中核となる学校図書館において、児童・生徒にとって魅力的で利用しやすい空間となるよう、図書の充実、検索システムの向上、環境整備に努めます。

(4) 地域・家庭との連携

- ・学校図書館間と中央公民館図書室等の連携で、蔵書の活用を図ります。
- ・読み聞かせボランティアと連携し、読書を通じた地域との交流、世代間交流を図ります。
- ・家庭との連携を十分に図り、家庭での読書機会が確保されるよう啓発します。

(5) 教職員の研修

読書指導や学校図書館の活用に関する研修に参加し、教職員の資質向上に努めます。

Ⅲ 関係機関との連携・協力

関係機関がそれぞれの特性を活かして、連携・協力し地域でのきめ細やかな活動支援を行います。

- ・ブックスタート事業の実施
- ・中央公民館図書室から各施設への団体貸し出しサービス
- ・読書に関する研修会等への参加呼びかけ
- ・子どもの読書活動を推進する関係機関及び関係者の情報交換
- ・ボランティアグループによる保育所、幼稚園、学校や中央公民館での読み聞かせ会など
- ・ボランティアグループへの支援

